

## もと淀川区役所跡地活用計画

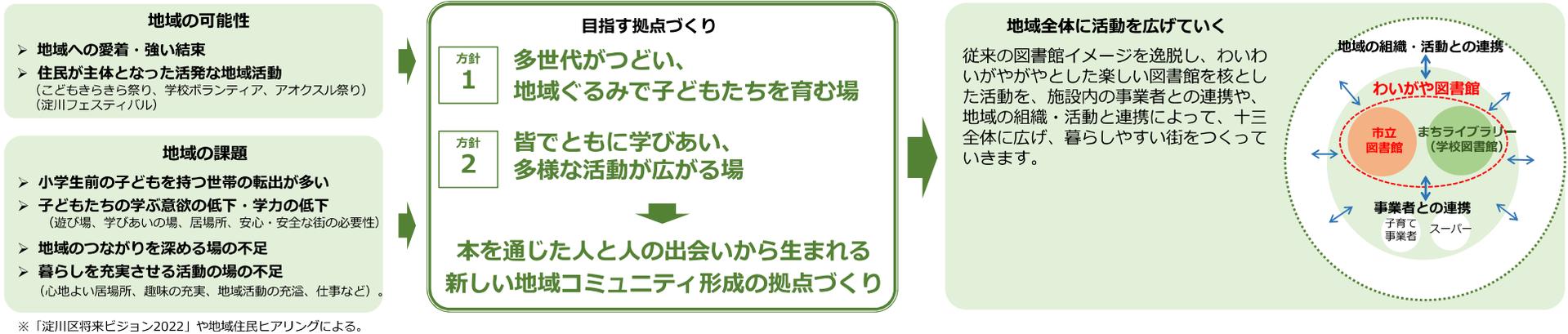
---

### 資料構成

1. 施設の考え方
2. 施設平面図
3. これまでの経過と今後の進め方
4. まちライブラリーとは
5. 施設全体概要

方針 新たな地域コミュニティを形成する拠点をづくり、地域全体に広げていく

淀川区は、地域の愛着や結束が強く、地域づくり活動も活発です。一方で、大阪市の子どもの学力が全国よりも低いことや、子育て世帯や若者が他地域に転出し、新しい地域のつながりを醸成できないといった課題にあります。本計画では、地域の期待に応える拠点として、多世代の人たちが訪れ、つながり、地域ぐるみで子どもたちを育む場、そして、皆でともに学びあい、多様な活動が広がる場をつくります。この拠点を中心に、「新たな地域コミュニティを形成」し、新旧住民ともに、ここで暮らし続けたいと思える地域づくりに取り組みます。



体制 施設 (市立図書館 + まちライブラリー・学校図書館) + エリアマネジメント の連携で、コミュニティを地域に広げる

本施設は、「本や人と出会う」ことに加え、「利用者主体の多様な活動を生む」場とします。まちライブラリーを核にして、特色ある場をつくり、新たなコミュニティをつくります。さらに、地域の人・活動と結びつけるエリアマネジメントを実施し、地域コミュニティを地域全体へ広げます。



## もと淀川区役所跡地活用計画 施設平面図

- ◆ 市立図書館と学校図書館（まちライブラリー）を**一体的な空間**とし、人や知がつながる計画とします。
- ◆ 市立図書館は「多世代で子どもを育む」をテーマに、学校図書館は「ウェルネス」をテーマに、**特色ある空間デザインや機能**を配置します。
- ◆ まちライブラリーには、本を読むことに加え、オシャベリする、身体を動かす、協働するなど、利用者主体で**多様な活動を生む仕掛け**をつくります。

地域が憩える、象徴的な大階段ベンチ



気軽に訪れ、おしゃべりが広がる  
あたたかみのある空間



シンボリックな既存樹アートを  
中心としたにぎやかなホール



ワクワクしながら  
本を探す図書コーナー



多目的に活動できる  
アクティブスタジオ



学生の知を育む専門書棚

子どもたちが楽しめる  
読み聞かせ・遊びスペース



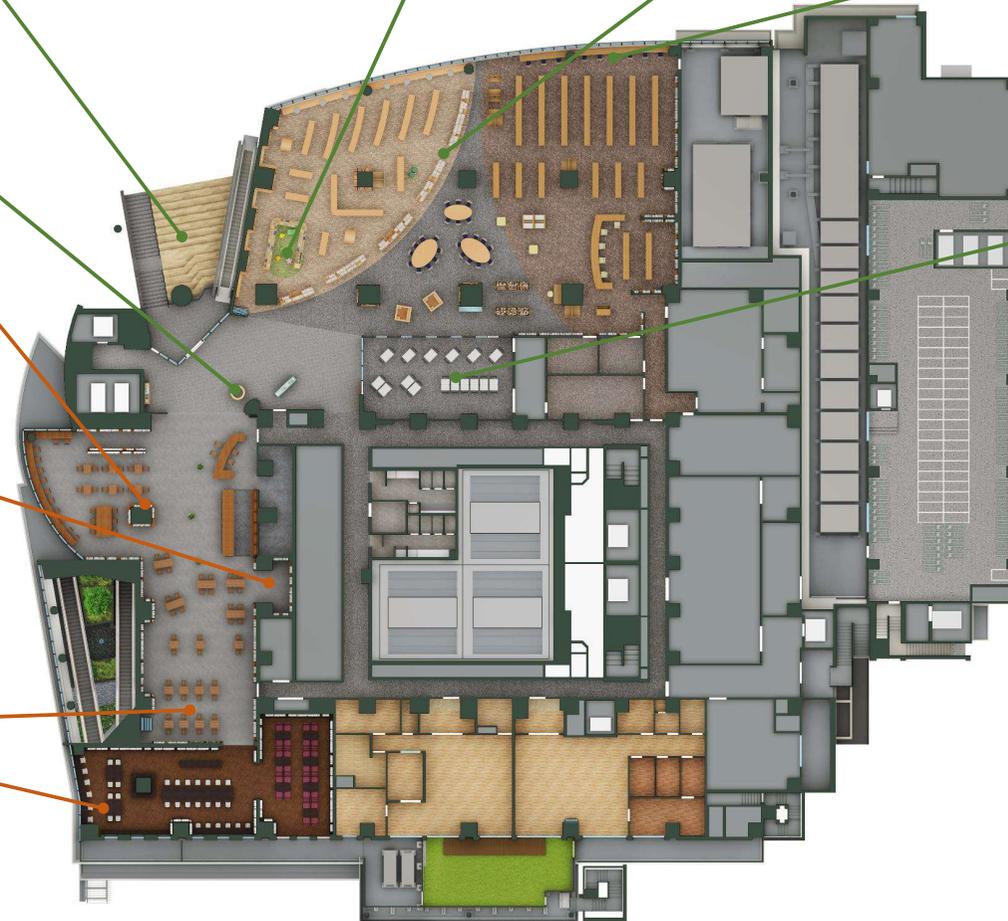
子どもたちが探検するように  
本を見つける・熱中できる書架



落ち着いた読書スペース

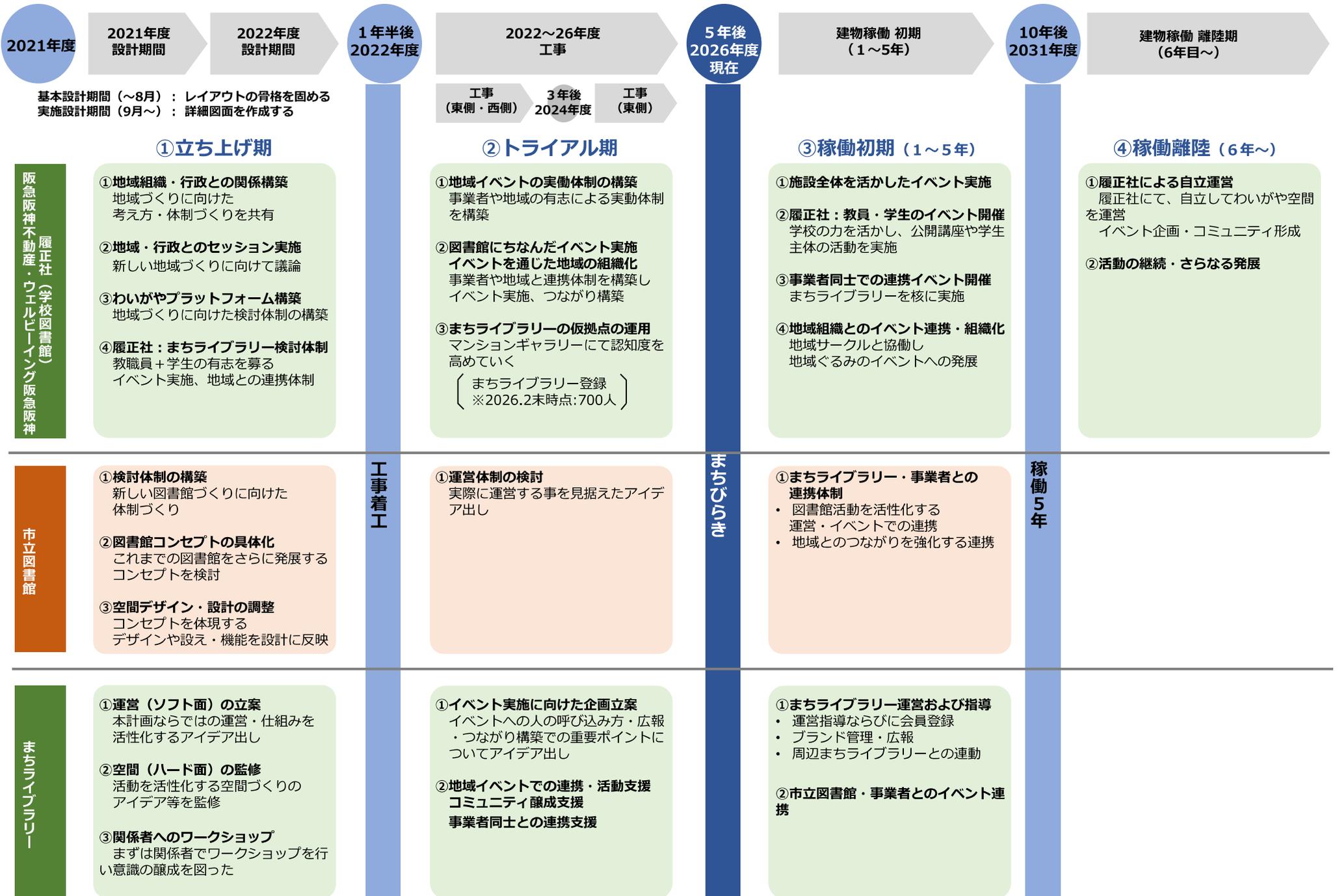


地域ぐるみの  
多様な活動が広がる多目的スペース



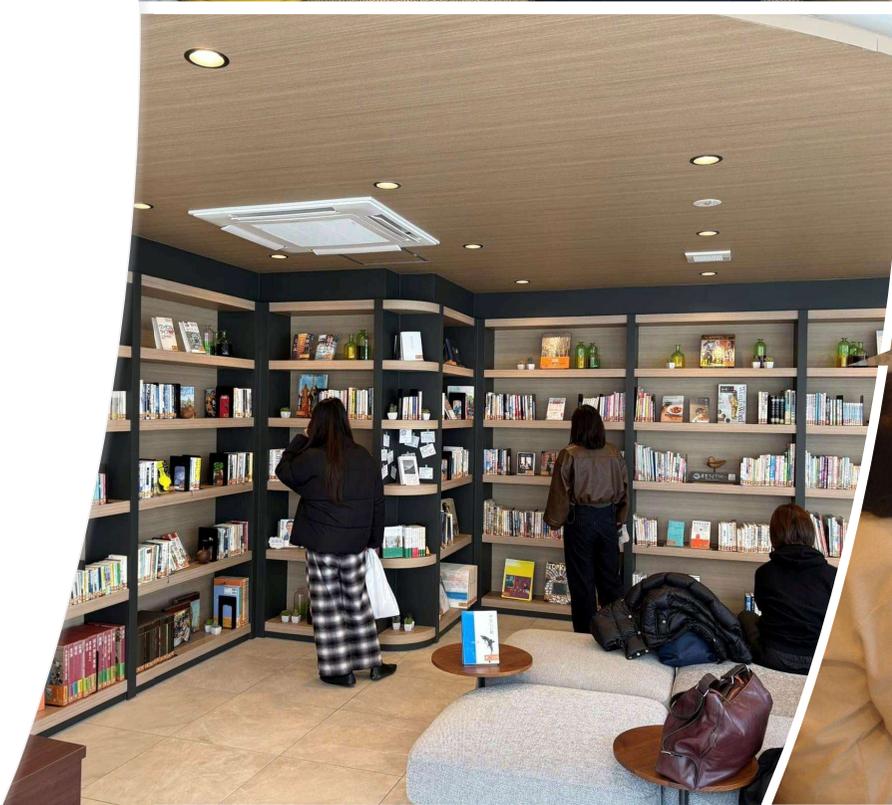
※写真はイメージです

もと淀川区役所跡地活用計画 これまでの経過と今後の進め方



## まちライブラリーについて

まちライブラリーは、いつでも誰でもどこでも始めることができる、「本」を通じて「人」と出会うまちの図書館です。個人や団体が、自宅や店舗、病院、学校などの一角に本棚を設置して本の貸し借りなどを行う場として全国に広がり、今では図書館や公共施設、商業施設、サービス付き高齢者住宅などにも広がっています。多様な人たちがそれぞれの想いをもって展開する活動になっています。



## 施設全体について

### ●大阪市立淀川図書館

利用者の視線が行き交い、顔が見えるオープンな大阪市立図書館。  
読書・学習スペースや児童読み聞かせスペースなどがあり、多世代の交流が広がります。  
(2026年4月17日OPEN予定)



### ●民営駐輪場（エコステーション21）

施設、及び周辺利用時にご利用いただける一時駐輪場  
・定期駐輪場  
(2026年4月17日OPEN予定)

### ●保育・学童施設（ステラナーサリースクール大阪）

国際教育とリトミック・運動遊びなどの日本語教育を組み合わせ、子どもたちの知的好奇心と心身の成長を育みます。  
経験豊富な講師陣が未来を担う力を養う保育学童施設です。  
(2026年5月開園予定)



### ●食品スーパー（株式会社ダイエー）

売り場面積約1,000㎡のスーパーマーケット  
(2026年5月下旬OPEN予定)



### ●履正社十三図書館（まちライブラリー）

履正社十三図書館の一部は「まちライブラリー@履正社十三図書館」として読書、学び、ミーティングなどさまざまな目的で利用できる空間。  
本を持ち寄り、人と人との出会いをつなぐ地域コミュニティの場となります。  
(まちライブラリーは2026年4月17日OPEN予定)

